



みんなで行動しよう こしがやクールアクション2030 事業者編

※こしがやクールアクション2030とは
環境にやさしい「賢い（クール）+行動（アクション）」の取組例です。
リストを参考に日ごろの生活様式をチェックしてみましょう。

取組状況

「3：よく取り組んでいる」「2：取り組んでいる」「1：あまり取り組めていない」

基本目標1 脱炭素社会の構築

- 省エネルギーや温暖化対策に関する目標を定め、毎年進捗管理を行います。
- 設備・機器を購入する際は省エネルギー型のものを選択します。さらに、太陽光発電や太陽熱利用設備を事業所に備えます。

○ 3 ○ 2 ○ 1

○ 3 ○ 2 ○ 1

基本目標2 気候変動影響への適応

- 気候変動影響による自社やサプライチェーン（製品の調達～販売までの一連の流れ）のリスクや機会を把握し整理します。
- 洪水や気象災害などの気候変動影響や長期的な気候の変化を想定したBCP(事業継続計画)を策定します。

○ 3 ○ 2 ○ 1

○ 3 ○ 2 ○ 1

基本目標3 資源循環型の地域形成

- リユース・リサイクルしやすく環境負荷の少ない製品の製造・販売を推進するとともに、自社製品の回収・適正処理に努めます。
- ワンウェイプラスチック製品をなるべく使用しません。

○ 3 ○ 2 ○ 1

○ 3 ○ 2 ○ 1

基本目標4 生物多様性の保全と回復

- 生きものの生育できる空間を保全するため、事業所の周りは生け垣にし、オープンスペースには中高木（在来種など）などを植栽し、敷地内の緑化に努めます。
- 身近な緑を守り、育てるための自主的な活動を進めるとともに、地域の活動に参加します。

○ 3 ○ 2 ○ 1

○ 3 ○ 2 ○ 1

基本目標5 安全で安心な生活環境の形成

- 事業活動によるインプットやアウトプットによる環境負荷を低減するためにどのような事業活動の工夫や対策が行えるか検討します。
- 環境項目ごとに自らの事業による状況を把握し、その情報を公表します。

○ 3 ○ 2 ○ 1

○ 3 ○ 2 ○ 1

基本目標6 人づくり、参加・協働

- 環境配慮やSDGsの達成に繋がる商品やサービスの開発・提供を行っています。
- 区域内の市民や行政の取組を支援し、協働で実施します。また、これら地域社会に貢献する活動を公表します。

○ 3 ○ 2 ○ 1

○ 3 ○ 2 ○ 1